



病気をもった高齢者が歯科医院に来たらどうしますか？

—既往歴/服用薬剤確認の基本・歯科でくすりを処方するときの注意点—

日時 **1月12日（日）**
14:00～17:00

講師 公立八女総合病院歯科口腔外科部長
松村 香織 先生

会場 兵庫県保険医協会会議室

- ・神戸フコク生命海岸通ビル5階
- ・JR・阪神「元町」駅東口から南へ徒歩7分



【Zoom視聴の申し込み】

下記のURLまたは二次元コードからお申し込みください。案内メールが送付されます。

<https://x.gd/utk1k>



⇒協会未入会の先生はこの機会にご入会の上ご参加ください
(入会金なし・月会費：歯科開業医5,000円、同勤務医3,000円)

*お問い合わせは

TEL：078-393-1809 E-MAIL：ysng@doc-net.or.jp



日本では現在急速に高齢化が進行しています。高齢者の増加により、要介護者の増加が特に問題視されていますが、一方で外来通院のできる高齢者も多く存在します。一般歯科診療所の外来でも全身疾患に対し多くの薬剤を投与されている患者さんの診療をされることが多くなっているのではないのでしょうか。病気をもった有病高齢者に対しては歯科治療を行う前に全身疾患や服用薬剤を把握し、医科と連携して対応することが重要です。

また、私たち歯科医師は、日常的に抗菌薬や鎮痛薬などを処方していますが、特に高齢者に対しては処方薬の選択基準や医科処方薬との相互作用に関する知識をもって対応しなければ大きなトラブルにつながることがあります。安心安全な歯科治療のために、本講演では問診による全身疾患や服用薬剤の把握、医科との診療情報連携のしかた、有病高齢者への処方のポイントを中心にお伝えしたいと思います。（松村 記）

1月12日歯科定例研究会 参加申込書（返信FAX：078-393-1802）

地区〔 市区町 〕 医院名〔 〕
TEL〔 〕 FAX〔 〕
氏名〔 〕 職種〔 〕